

社会資本整備総合交付金事業 (H26～30)

パッケージ No.1

インターチェンジや
新幹線駅等への
アクセス性向上を図る
街路整備

パッケージ No.2

都市内交通の円滑化と
拠点への連絡強化を
促進する街路整備

パッケージ No.3

通学路の安全を確保する
街路整備

指標を用いた達成目標

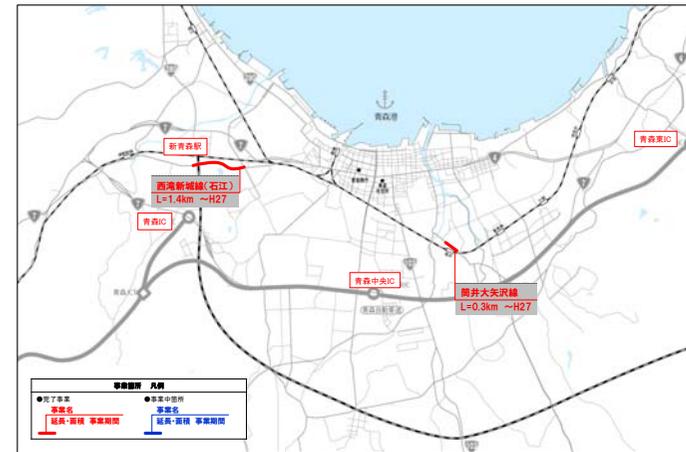
- 主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大
- 市街地内の通学路の安全性を向上させる

※街路・・・市街地における都市計画決定された道路

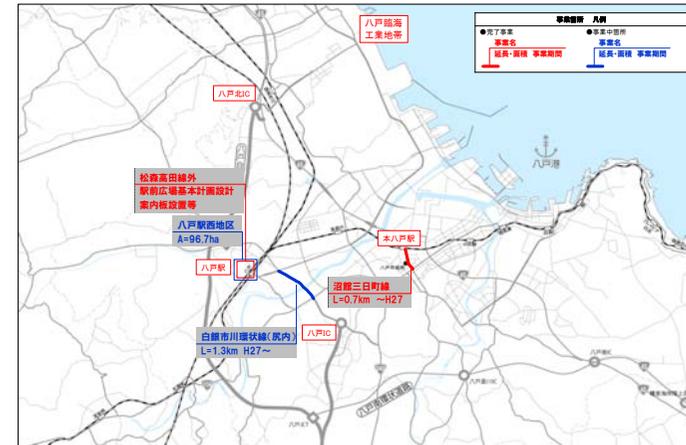
パッケージNo. 1 インターチェンジや新幹線駅等へのアクセス性向上を図る街路整備

■対象地域	青森市、八戸市				
■事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 東北新幹線新青森駅、青い森鉄道筒井駅、東北縦貫自動車道ICへのアクセス性向上と都市内交通ネットワークの形成を図る 東北新幹線八戸駅、JR八戸線本八戸駅、東北縦貫自動車道ICへのアクセス性向上と都市内交通ネットワークの形成を図る 				
■事業の成果目標	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大				
■成果目標の定義	<ol style="list-style-type: none"> ①主要な交通拠点(東北新幹線新青森駅)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合 ②主要な交通拠点(東北縦貫自動車道青森IC・青森中央IC・青森東IC)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合 ③主要な交通拠点(東北新幹線八戸駅、JR本八戸駅)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合 ④主要な交通拠点(東北縦貫自動車道八戸IC・八戸北IC、八戸久慈自動車道八戸是川IC、第二みちのく有料道路三沢十和田下田IC)へ10分以内に到達できる市街化区域面積又は用途地域面積の割合 				
■アウトカム指標の算定式	$\left(\frac{\text{拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積}}{\text{市街化区域面積}} \right) \times 100$				
■指標の現況値及び目標値			最終目標値(H30末)		達成度 (実績/計画)
		H26当初	計画	実績	
	①	19.8%	22.9%	24.5%	106.9%
	②	41.1%	41.2%	43.1%	104.6%
	③	21.4%	23.4%	23.2%	99.1%
④	22.7%	24.4%	24.5%	100.4%	
■対象とする事業	街路事業、土地区画整理事業				
■主な路線	八戸駅西地区(3・4・27号松森高田線外)、 八戸駅西地区(3・1・1号八戸駅西中央通り線外)、 3・4・2号 西滝新城線(石江)、3・4・24号筒井大矢沢線、 3・5・1号 沼館三日町線、3・3・8号 白銀市川環状線(尻内)				

パッケージ1(青森市)



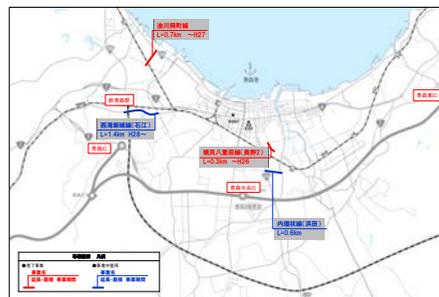
パッケージ1(八戸市)



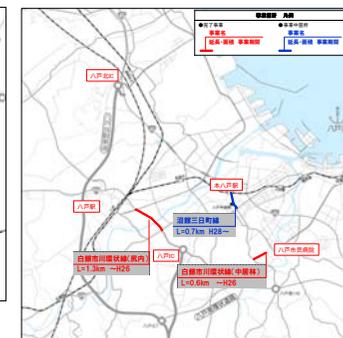
パッケージNo. 2 都市内交通の円滑化と拠点への連絡強化を促進する街路整備

■対象地域	青森市、弘前市、八戸市、三沢市 ほか				
■事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・東北縦貫自動車道IC、東北新幹線新青森駅への連絡強化を促進し、都市内交通ネットワークの形成を図る ・弘前市中心市街地の主要幹線道路の整備によりネットワークを形成し、交通渋滞解消と中心市街地へのアクセス向上を図る ・地域内の高規格幹線道路IC及び国道間の連絡強化を図るとともに、東北新幹線八戸駅へのアクセス向上を図る 				
■事業の成果目標	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大				
■成果目標の定義	<ol style="list-style-type: none"> ① 主要な交通拠点(東北新幹線新青森駅)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合 ② 主要な交通拠点(東北縦貫自動車道青森IC・青森中央IC・青森東IC)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合 ③ 市街地中心部(弘前市土手町)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合 ④ 主要な交通拠点(東北新幹線八戸駅、JR本八戸駅)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合 ⑤ 主要な交通拠点(東北縦貫自動車道八戸IC・八戸北IC、八戸久慈自動車道八戸是川IC、第二みちのく有料道路三沢十和田下田IC)へ10分以内に到達できる市街化区域面積又は用途地域面積の割合 ⑥ 八戸市民病院へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合 ⑦ 市中心部(むつ市役所)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合 				
■アウトカム指標の算定式	$\left(\frac{\text{拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積}}{\text{市街化区域面積}} \right) \times 100$				
■指標の現況値及び目標値		H26当初	最終目標値(H30末)		達成度 (実績/計画)
			計画	実績	
	①	19.8%	22.9%	24.5%	106.9%
	②	41.1%	41.2%	43.1%	104.6%
	③	30.7%	31.8%	31.9%	100.3%
	④	21.4%	23.4%	23.2%	99.1%
	⑤	22.7%	24.4%	24.5%	100.4%
	⑥	23.2%	24.2%	23.9%	98.7%
⑦	10.7%	10.9%	10.9%	100%	
■対象とする事業	街路事業				
■主な路線	3・2・2号 内環状線(浜田)、3・4・3号 蛭貝八重田線(奥野2)、3・4・16号 油川岡町線、 3・4・6号 山道町樋の口町線、3・4・7号 黒石環状線、3・3・8号 白銀市川環状線(中居林)、 3・3・8号 白銀市川環状線(尻内)、3・4・3号 中央町金矢線、3・4・4号 春日台十和田線、 3・4・1号 横迎町中央2号線、3・4・2号 西滝新城線(石江)、3・5・1号 沼館三日町線、 3・4・20号 紺屋町野田線				

パッケージ2(青森市)



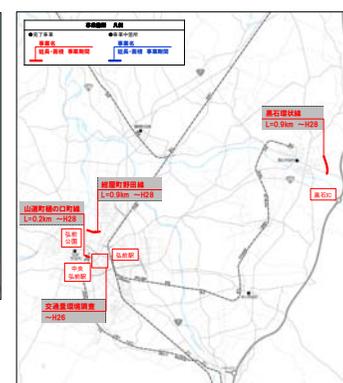
パッケージ2(八戸市)



パッケージ2(三沢市・むつ市)



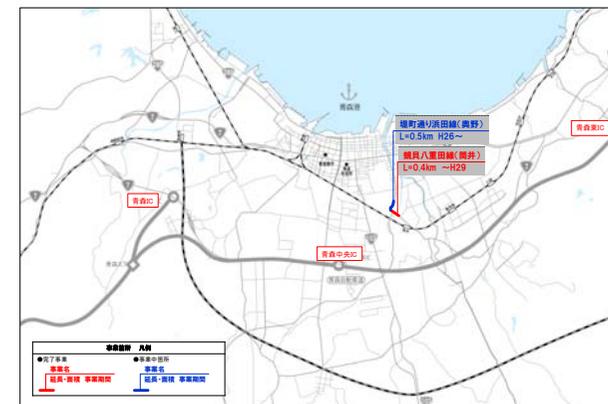
パッケージ2(弘前市・黒石市)



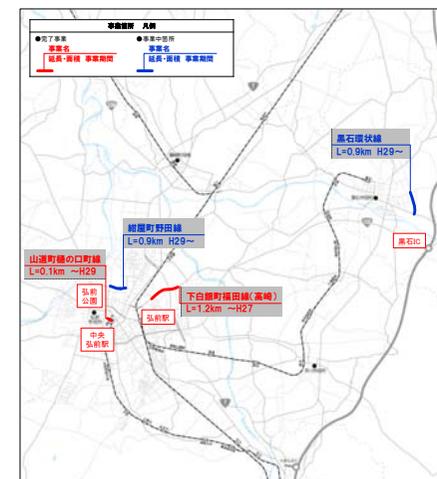
パッケージNo. 3 通学路の安全を確保する街路整備

■対象地域	青森市、弘前市、黒石市				
■事業の目的	・緊急合同点検及び通学路交通安全プログラムにより要対策箇所と位置づけられた通学路の整備を促進し、安全・安心な通学路を確保する。				
■事業の成果目標	緊急合同点検及び通学路交通安全プログラムにより要対策箇所と位置づけられた通学路の整備を促進し、通学路の整備率を62.0%にする				
■成果目標の定義	①緊急合同点検及び通学路交通安全プログラムにより要対策箇所と位置づけられた通学路の整備率				
■アウトカム指標の算定式	$(\text{対象済み箇所延長} / \text{要対策箇所延長}) \times 100$				
■指標の現況値及び目標値		H26当初	最終目標値(H30末)		達成度 (実績/計画)
	①	0%	計画	実績	
①		0%	62.0%	41.0%	66.1%
■対象とする事業	街路事業				
■主な路線	3・4・3号 蛭貝八重田線(筒井)、3・5・4号 堤町通り浜田線(奥野)、3・3・3号 下白銀町福田線(高崎)、3・4・6号 山道町樋の口町線、3・4・20号 紺屋町野田線、3・4・7号 黒石環状線				

パッケージ3(青森市)



パッケージ3
(弘前市、黒石市)



【3・3・3号下白銀町福田線(高崎)の供用状況】



【3・4・3号蛭貝八重田線(筒井)の供用状況】

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年03月17日

計画の名称	インターチェンジや新幹線駅等へのアクセス性向上を図る街路整備												
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	八戸市, 青森県												
計画の目標	東北新幹線新青森駅、青い森鉄道筒井駅、東北縦貫自動車道ICへのアクセス性向上と都市内交通ネットワークの形成を図る。 東北新幹線八戸駅、JR八戸線本八戸駅、東北縦貫自動車道ICへのアクセス性向上と都市内交通ネットワークの形成を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	7,663	A	7,509	B	0	C	154	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	2	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初	H28末	H30末
1	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大 主要な交通拠点(東北新幹線新青森駅)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する。 (割合) = 拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積 / 市街化区域面積 × 100	20%	20%	23%
2	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大 主要な交通拠点(東北縦貫自動車道青森IC・青森中央IC・青森東IC)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する。 (割合) = 拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積 / 市街化区域面積 × 100	41%	41%	41%
3	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大 主要な交通拠点(東北新幹線八戸駅、JR本八戸駅)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する。 (割合) = 拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積 / 市街化区域面積 × 100	21%	23%	23%
4	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大 主要な交通拠点(東北縦貫自動車八戸IC・八戸北IC、八戸久慈自動車道八戸是川IC、第二みちのく有料道路三沢十和田下田IC)へ10分以内に到達できる市街化区域面積又は用途地域面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する。 (割合) = 拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積又は用途地域面積 / 市街化区域面積又は用途地域面積 × 100	23%	23%	24%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	街路	一般	八戸市	直接	八戸市	区画	改築	八戸駅西地区(3・4・27号 松森高田線外)(21-A1)	区画整理 A=96.7ha	八戸市						65		-	
	A01-002	街路	一般	八戸市	直接	八戸市	区画	改築	八戸駅西地区(3・1・1号八 戸駅西中央通り線外)(2 1-A2)	区画整理 A=96.7ha	八戸市							2,713		-
	A01-003	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・4・2号西滝新城線(石江) (21-A3)	街路整備 L=1.4km	青森市							337		-
	A01-004	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・4・24号筒井大矢沢線(2 1-A4)	街路整備 L=0.3km	青森市							274		-
	A01-005	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・5・1号沼館三日町線(21 -A5)	街路整備 L=0.7km	八戸市							870		-
	A01-006	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・3・8号白銀市川環状線(尻内)(21-A6)	街路整備 L=1.3km	八戸市							3,250		-

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 県都市計画課が実施	事後評価の実施時期 平成31年度
	公表の方法 県ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3・4・3号蛸貝八重田線（奥野2）や3・4・24号筒井大矢沢線が整備されたが、新青森駅へのアクセス性に変化は無い。 ・ 3・4・3号蛸貝八重田線（奥野2）や3・4・24号筒井大矢沢線が整備されたが、青森市内のインターチェンジへのアクセス性に変化は無い。 ・ 3・3・8号白銀市川環状線（中居林）の整備により、鉄道駅へのアクセス性が向上した。 ・ 3・3・8号白銀市川環状線（中居林）や3・4・3号中央町金矢線（中居林）の整備により、八戸市周辺インターチェンジへのアクセス性が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	新青森駅10分圏内市街化区域面積の割合	
	最終目標値	23%
	最終実績値	25%
2	青森市内 3 箇所のIC10分圏内市街化区域面積の割合	
	最終目標値	41%
	最終実績値	43%
3	八戸市内 2 駅10分圏内市街化区域面積の割合	
	最終目標値	23%
	最終実績値	23%
4	八戸市周辺 4 箇所のIC10分圏内市街化区域面積の割合	
	最終目標値	24%
	最終実績値	25%

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年03月17日

計画の名称	都市内交通の円滑化と拠点への連絡強化を促進する街路整備												
計画の期間	平成26年度～平成30年度(5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	青森市,弘前市,黒石市,青森県,三沢市,むつ市												
計画の目標	東北縦貫自動車道IC、東北新幹線新青森駅への連絡強化を促進し、都市内交通ネットワークの形成を図る。 弘前市中心市街地の主要幹線道路の整備によるネットワークを形成し、交通渋滞解消と中心市街地へのアクセス向上を図る。 地域内の高規格幹線道路ICおよび国道間の連絡強化を図るとともに、東北新幹線八戸駅へのアクセス向上を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	7,949	A	7,932	B	0	C	17	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.21	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初	H28末	H30末
1	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大 主要な交通拠点(東北新幹線新青森駅)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する。 (割合) = 拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積 / 市街化区域面積 × 100	20%	20%	23%
2	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大 主要な交通拠点(東北縦貫自動車道青森IC・青森中央IC・青森東IC)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する。 (割合) = 拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積 / 市街化区域面積 × 100	41%	41%	41%
3	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大 市街地中心部(弘前市土手町)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する (割合) = 拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積 / 市街化区域面積 × 100	31%	32%	32%
4	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大 主要な交通拠点(東北新幹線八戸駅、JR本八戸駅)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する (割合) = 拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積 / 市街化区域面積 × 100	21%	23%	23%
5	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大 主要な交通拠点(東北縦貫自動車道八戸IC、八戸北IC、八戸久慈自動車道八戸は川IC、第二みちのく有料道路三沢十和田下田IC)へ10分以内に到達できる市街化区域面積又は用途地域面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する。 (割合) = 拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積又は用途地域面積 / 市街化区域面積又は用途地域面積 × 100	23%	23%	24%

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	青森市	直接	青森市	S街路	改築	3・2・2号内環状線(浜田) (22-A1)	街路整備 L=0.6km	青森市						2,847	-	
	A01-002	街路	一般	青森市	直接	青森市	S街路	改築	3・4・3号蛸貝八重田線(奥 野2)(22-A2)	街路整備 L=0.3km	青森市						27	-	
	A01-003	街路	一般	青森市	直接	青森市	S街路	改築	3・4・16号油川岡町線(22- A3)	街路整備 L=0.7km	青森市						49	-	
	A01-004	街路	一般	弘前市	直接	弘前市	S街路	改築	3・4・6号山道町樋の口町線 (22-A4)	街路整備 L=0.2km	弘前市						73	-	
	A01-005	街路	一般	黒石市	直接	黒石市	S街路	改築	3・4・7号黒石環状線(22-A 5)	街路整備 L=0.9km	黒石市						230	-	
	A01-006	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・3・8号白銀市川環状線(中居林)(22-A6)	街路整備 L=0.6km	八戸市						180	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-007	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・3・8号白銀市川環状線(尻内)(22-A7)	街路整備 L=1.3km	八戸市						159	-	
	A01-008	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・4・3号中央町金矢線(22-A8)	街路整備 L=1.6km	おいらせ町、三沢市							1,465	-
	A01-009	街路	一般	三沢市	直接	三沢市	S街路	改築	3・4・4号春日台十和田線(22-A9)	街路整備 L=0.8km	三沢市、六戸町							176	-
	A01-010	街路	一般	むつ市	直接	むつ市	S街路	改築	3・4・1号横迎町中央2号線(22-A10)	街路整備 L=1.0km	むつ市							1,399	-
	A01-011	街路	一般	青森市	直接	青森市	S街路	改築	8・7・2号青森駅自由通路(22-A11)	街路整備 L=0.2km	青森市							63	-
	A01-012	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・4・2号西滝新城線(石江)(22-A12)	街路整備 L=1.4km	青森市							323	-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-013	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・5・1号沼館三日町線(22-A13)	街路事業 L=0.7km	八戸市						936	-	
	A01-014	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・4・20号紺屋町野田線(22-A14)	街路整備 L=0.9km	弘前市						5	-	
												小計						7,932	
												合計						7,932	

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	C01-001	街路	一般	弘前市	直接	弘前市	S街路	調査	交通環境調査（22-C4）	駅周辺地区の交通解析	弘前市						17	-	
		街路事業と一体的に実施し、駅周辺地区の機能向上を図る整備を行うことを目的として、駅周辺における交通解析、各種調査、計画を実施する																	
											小計						17		
											合計						17		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 県都市計画課が実施	事後評価の実施時期 平成31年度
	公表の方法 県ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3・4・3号蛸貝八重田線（奥野2）や3・4・24号筒井大矢沢線が整備されたが、新青森駅へのアクセス性に変化はない。 ・ 3・4・3号蛸貝八重田線（奥野2）や3・4・24号筒井大矢沢線が整備されたが、青森市内のインターチェンジへのアクセス性に変化はない。 ・ 3・3・3号下白銀町福田線（高崎）が整備されたが、弘前市市街地中心部へのアクセス性向上にはほとんど影響がなかった。 ・ 3・3・8号白銀市川環状線（中居林）の整備により、八戸市内の主要鉄道駅へのアクセス性が向上した。 ・ 3・3・8号白銀市川環状線（中居林）や3・4・3号中央町金矢線の整備により、八戸市周辺インターチェンジへのアクセス性が向上した。 ・ 3・3・8号白銀市川環状線（中居林）の整備により、八戸市民病院へのアクセス性が向上した。 ・ 3・4・1号横迎町中央2号線は事業中であり、むつ市中心部へのアクセス性に変化はない。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	新青森駅10分圏内市街化区域面積の割合		
	最終目標値	23%	事業完了後の走行速度が当初の設定より上回ったため、エリアが想定値より拡大した。（22.9% 24.5%）
	最終実績値	25%	
2	青森市内の3箇所IC10分圏内市街化区域面積の割合		
	最終目標値	41%	事業完了後の走行速度が当初の設定より上回ったため、エリアが想定値より拡大した。（41.2% 43.1%）
	最終実績値	43%	
3	弘前市土手町10分圏内市街化区域面積の割合		
	最終目標値	32%	事業完了後の走行速度が当初の設定より若干上回ったため、エリアが想定値より微増した。（31.8% 31.9%）
	最終実績値	32%	
4	東北新幹線八戸駅・JR本八戸駅10分圏内市街化区域面積の割合		
	最終目標値	23%	事業完了後の走行速度が、想定していた速度に若干満たなかったため、エリア拡大面積が目標値に満たなかった。（23.4% 23.2%）
	最終実績値	23%	
5	八戸市周辺4箇所のIC10分圏内市街化区域面積の割合		
	最終目標値	24%	事業完了後の走行速度が当初の設定より若干上回ったため、エリアが想定値より微増した。（24.4% 24.5%）
	最終実績値	25%	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
6	八戸市民病院10分圏内市街化区域面積の割合	
	最終目標値	24%
	最終実績値	24%
7	むつ市役所10分圏内市街化区域面積の割合	
	最終目標値	11%
	最終実績値	11%

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年03月17日

計画の名称	通学路の安全を確保する街路整備（防災・安全）											
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	青森県, 弘前市, 黒石市											
計画の目標	緊急合同点検及び通学路交通安全プログラムにより要対策箇所と位置付けられた通学路の整備を促進し、安全・安心な通学路を確保する											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	4,867	A	4,867	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初	H28末	H30末
1	緊急合同点検及び通学路交通安全プログラムにより要対策箇所と位置付けられた通学路の整備率を62.0%にする 緊急合同点検及び通学路交通安全プログラムにより要対策箇所と位置付けられた通学路の整備率 (整備率) = (対策済み箇所延長) / (要対策箇所延長) × 100	0%	57%	62%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・4・3号蛸貝八重田線(筒井)(24-A1)	街路整備 L=0.4km	青森市						1,312	-	
	A01-002	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・5・4号堤町通り浜田線(奥野)(24-A2)	街路整備 L=0.5km	青森市							1,986	-
	A01-003	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・3・3号下白銀町福田線(高崎)(24-A3)	街路整備 L=1.2km	弘前市							297	-
	A01-004	街路	一般	弘前市	直接	弘前市	S街路	改築	3・4・6号山道町樋の口町線(24-A4)	街路整備 L=0.1km	弘前市							40	-
	A01-005	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・4・20号紺屋町野田線(24-A5)	街路整備 L=0.9km	弘前市							335	-
	A01-006	街路	一般	黒石市	直接	黒石市	S街路	改築	3・4・7号黒石環状線(24-A6)	街路整備 L=0.9km	黒石市							897	-
												小計						4,867	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 県都市計画課が実施	事後評価の実施時期 平成31年度
	公表の方法 県ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	3・4・3号蛸貝八重田線（筒井）や3・3・3号下白銀町福田線（高崎）の整備進捗により、通学路の整備済延長は増加している。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）	目標値と実績値に差が出た要因	
1	目標値 / 実績値	要対策箇所と位置づけられた通学路の整備率 当初計画していた3路線の事業予定に対し、対象事業路線が増えたため整備済み延長は増加したが、割合（整備率）が低下した。（62.0% 41.0%）	
	最終目標値		62%
	最終実績値		41%